

半期ディスクロージャー誌 平成30年度

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

JAありだのご案内

JAありだは、「有田みかん」と「農業」を核に
元気な地域社会づくりに貢献します。



ありだ農業協同組合

〒643-0032

和歌山県有田郡有田川町大字天満47-1

TEL 0737-53-2311 (代)

I. 地域社会貢献活動

当組合は、有田市・有田郡を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

(1) 組合員の数 (単位：人)

資格区分		平成30年9月末	
正組合員	個人	8,231	
	団体	農事組合法人	4
		その他の法人・団体	17
准組合員	個人	8,253	
	団体	農業協同組合	-
		農事組合法人	2
		その他の法人・団体	66
合計		16,573	

(2) 出資口数 (単位：口)

	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
正組合員	1,612,818	1,605,678	1,637,262
准組合員	496,176	477,101	481,753
処分未済持分	-	15,367	-
計	2,108,994	2,098,146	2,119,015
(摘要) (1) 出資1口金額：1,000円			

1. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金残高・・・202,467,354千円

(2) 貯金商品の概要・・・すこやか定期貯金、介護支援定期貯金「JAあんしん」、暖流定期積金、グリーン定期積金、JA年金特別定期貯金「ニュー福祉」、年金予約定期貯金・定期積金、年金定期貯金「結いの恵み」、子育て応援定期貯金・定期積金、ゆとり定期積金、給与振込指定者限定定期積金、相続専用特別定期貯金、農産物直売所クーポン券付定期貯金「たわわ」等

2. 地域への資金供給状況

(1) 貸出金残高・・・組合員等 13,141,090千円

地方公共団体 4,405,149千円

その他 439,167千円

(2) 制度融資取扱い状況・・・農業近代化資金 267,540千円

※地域農業の基本構想を踏まえ担い手の育成と地域農業の振興に資する農業者の資金ニーズに対する相談に応じています。

(3) 融資商品の概要

農業資金・・・農業近代化資金、生活営農資金、営農ローン、農業振興資金、農業法人応援ローン、新規就農応援資金等

生活資金・・・カードローン、教育ローン、マイカーローン等

住宅資金・・・住宅ローン、リフォームローン等

3. 文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 高齢者福祉活動

介護保険事業・高齢者生活支援事業を軸として、高齢者が安心してゆたかに暮らせる地域社会づくりに取り組んでいます。

訪問介護事業

平成 12 年 4 月 1 日 J A ありだ清水訪問介護事業所が事業開始

平成 12 年 6 月 1 日 J A ありだ訪問介護センターが事業開始

居宅介護支援事業

平成 13 年 5 月 1 日 J A ありだ居宅介護支援事業所が事業開始

平成 25 年 8 月 1 日 J A ありだ居宅介護支援事業所を J A ありだ清水ケアプランセンターと改称

平成 25 年 8 月 1 日 J A ありだケアプランセンターを本所に開設

福祉用具貸与事業

平成 17 年 10 月 1 日 J A ありだ福祉用具貸与事業所が事業開始

福祉用具販売事業

平成 18 年 5 月 1 日 J A ありだ特定福祉用具販売事業所が事業開始

高齢者生活支援事業

平成 18 年 6 月 1 日 高齢者生活支援事業を開始

職員の「認知症サポーター養成研修」の実施により、現在まで職員延べ 3 2 7 名が受講済。

(2) 健康活動

- ・健康教室（動脈硬化測定会）を開催しました。
- ・普通救命講習会を開催し、緊急時に対応できる人材の養成に取り組みました。
延べ 3 1 0 名受講（管内事業所 9 か所に A E D 設置）

(3) 暮らしの活動

- ・将来を担う次世代層の子どもたちに、生きることの最も基本的な要素である「食」と、それを支える「農」について体験し、学ぶ「食農教育」を重要な取り組みとして位置づけ、食の大切さや農業の役割等、理解を深める活動を展開しています。

【ちゃぐりんキッズスクール】

管内小学校 3, 4 年生に募集。30 人が参加し、7 月はざる豆腐作り、8 月には野菜の植え付け 9 月に野菜の観察と陶芸を体験しました。

【管内小学校へのバケツ稲セット、さつまいも苗の提供】

バケツ稲セット 1 校、さつまいも苗は 2 3 校に提供しました。

【管内小学校への「出前授業」】

申込みのあった 8 校に対して、それぞれ「地元の野菜を使ったピザ作り」「もっと知ろう有田みかん」の出前授業を行いました。

- ・ウォーキングを通して、組合員、利用者、さらに地域住民の健康維持と体力向上をはかるとともに、参加者の仲間づくりを通して、「いきがい」のある暮らしを提供することを目的とした健康ウォーク講座「スマイルウォーク」を開講しました。初夏コースでは 20 名、秋コースでは 19 名が参加し、熊野古道等にて実施しました。
- ・組合員・地域住民の交流を促進することで、心のふれあいを通じた地域連帯感の醸成と、うるおいある地域社会の発展に寄与することを目的とし、「第 19 回ふれあいまつり」を 9 月 2 日、A Q 中央選果場において開催しました。
- ・地域の拠り所となる支所づくりを目指し、支所と営農センター、女性会等各組織の参画によ

り3箇所で支所まつりを開催しました。

・「JAありだ女性会」活動

4月に第18回通常総会、5月ふれあい旅行、9月には女性のつどい大運動会を実施し、ふれあいと親睦をはかりました。フレッシュミズ部会でも、親子料理教室を8月に実施、ソフトバレーボール大会を9月に実施しました。

- ・青少年の育成活動として、9月に第14回JAありだ共済杯学童軟式野球大会（参加：Aクラス10Bクラス9）を開催しました。
- ・JA共済書道・交通安全ポスターコンクールを開催し、管内の小中学校より654点の応募がありました。
- ・各支所における地域貢献活動として、子どもの交通安全見守りやリサイクル活動、地域イベントへの参加、高齢者対象の「すこやかサロン」や、全戸訪問活動「ひと声運動」、組合員・地域住民に向けて支所報の発行、また、管内保育所・小学校の親子対象「あらぎ島親子稲作体験」の開催等に取り組みました。
- ・「買い物困難者」といわれる人々の生活支援をはじめ、地域における“見守り隊”的機能の役割発揮に主眼を置いた「JA移動購買」に取り組んでいます。
- ・管内一市三町と協定し、高齢者等の見守り協力事業所として、事業活動における訪問時や日常業務において、高齢者等の異変のサインに関心をもち注意を払う「高齢者等の見守り協力」に取り組んでいます。

（4）情報の提供

- ・組合員を対象に広報誌「大きな輪」、地域住民を対象にコミュニティ版「JAC」を発行し、「食」と「農」、JAへの理解促進に努めました。
- ・ホームページでは地域貢献活動を中心としたJAの活動を紹介しました。
- ・携帯メールを媒体とし、営農に関する情報を主体に配信しました。
- ・有田みかんを中心とした農作物や地域の魅力を、SNSを利用して発信しました。

（5）暮らしの相談活動

- ・ローン相談会を開催しました。
- ・年金無料相談会を開催しました。

（6）利用者ネットワーク化への取り組み

- ・年金友の会旅行、グラウンドゴルフ大会、グリーンゴルフコンペ、暖流釣り大会を開催しました。

（7）安全・安心なブランド産地への取り組み

- ・各種広報や研修会及び店舗窓口において、農薬の適正使用・環境への配慮の周知徹底を行いました。
- ・出荷前の生産履歴記帳、確認等の指導・推進を行いました。
- ・農薬使用済容器、肥料空袋等の回収処理を行いました。

II. 財務状況や事業に関する取り組み

1 金融再生法開示債権(単体)

(単位：千円)

債権区分	平成30年9月末	平成30年3月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	168,655	189,116	▲20,461
危険債権	279,642	294,862	▲15,220
要管理債権	-	-	-
正常債権	17,596,963	17,709,206	▲112,243
合計	18,045,260	18,193,185	▲147,924

注1 平成30年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

- ① 各債権区分額は、平成30年3月末時点の債権額を基準として、平成30年9月末時点の残高に修正しています。
- ② 平成30年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
- 2 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」「正常債権」についての対象債権は、信用事業与信額で、また「要管理債権」の対象債権は貸出金です。
- 3 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、自己査定における破綻先、実質破綻先のうち信用事業に係る総与信（貸出金、貸付有価証券、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金）で法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 4 「危険債権」とは、自己査定における破綻懸念先のうち信用事業に係る総与信で、経営破綻の状況にはないが財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。
- 5 「要管理債権」とは、自己査定における要管理先のうち3か月以上延滞貸出金および貸出条件緩和貸出金です。
- 6 「正常債権」とは、上記2～5以外の信用事業に係る総与信です。

2 単体自己資本比率

平成30年9月末（推計値）	平成30年3月末
12%程度	12.94%

注1 9月末の単体自己資本比率（推計値）は、平成30年3月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、9月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット額を平成30年3月末の信用リスクアセット額に加減し算出しています。

3 信用事業における主要勘定の状況

(単位：千円)

	平成30年9月末	平成30年3月末	平成29年9月末
貯金	202,467,354	203,841,765	196,221,438
貸出金	17,985,407	18,136,009	18,736,500
預け金	171,379,806	172,828,040	162,875,691
有価証券	7,099,273	7,599,117	8,198,947

4 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区分	平成30年9月末			平成30年3月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	7,099	7,278	179	7,599	7,817	218
その他	-	-	-	-	-	-
合計	7,099	7,278	179	7,599	7,817	218

注1 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2 取得価額は償却原価法適用後、減損処理前のものです。

◇金融商品の勧誘方針

当組合は、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等の勧誘にあたっては、次の事項を遵守し、組合員・利用者の皆さまに対して適正な勧誘を行います。

1. 組合員・利用者の皆さまの商品利用目的ならびに知識、経験、財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
2. 組合員・利用者の皆さまに対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
3. 不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど、組合員・利用者の皆さまの誤解を招くような説明は行いません。
4. 電話や訪問による勧誘は、組合員・利用者の皆さまのご都合に合わせて行うよう努めます。
5. 組合員・利用者の皆さまに対し、適切な勧誘が行えるよう役職員の研修の充実に努めます。
6. 販売・勧誘に関する組合員・利用者の皆さまからのご質問やご照会については、適切な対応に努めます。

平成20年7月28日

ありだ農業協同組合